

「農業守ろう」「欧米並みの所得補償を」と訴える「令和の百姓一揆」と題したトラクター行進とデモが30日、東京・原宿駅周辺で行われました。



31日付「しんぶん赤旗」が報じています。

全国から終結したトラクター30台が公道を走り、3200人の参加者が「日本の食と農は私たちの命の問題だ」と訴えてデモ行進しました。

茨城から参加した風見誠さんは「米が足りてないことを認めて、増産に転じる政治をつくらなければ、この先農家は

やっていけない」と述べていました。

